「中国企業の経営とグローバル化—ハイアールグループの事例を通して」

近年、マスコミで中国企業に関する話題が段階的に増加し、その経営に関心を持つ者も急増している。中国企業がどのような経営展開を行っているのか、これまでに先進国企業のキャッチアップを目指してきた彼らどのようにビジョンや戦略を打ち出すのかなどといったとともにベールに包まれている部分に関心が集まったからだと言える。実際中国企業による外国企業に対するM&Aが近年に活発化している。例えば、中国の家電大手の「Haier（ハイアール）」がパナソニック社から旧三洋電機の白物家電事業を買収し、元々三洋電機の「AQUA」ブランド手に入、「ハイアールアジア株式会社」という会社を日本に立ち上げ、アジアにおける開発、製造、販売の統括会社と位置付けている。最近、日本で販売されている電化製品の洗濯機「コトン」、スターワーズの人気キャラクター「R2-D2」を模した冷蔵庫など、ユニークな製品を次々に発売。販売、大きな話題を呼んでいる。

今回の公開講座では、中国企業の経営とグローバル化をメインテーマに、ハイアールアジア株式会社の協力を得て、同社執行役員の山崎伸一氏を迎え、また中国企業の経営に詳しい甲南大学経営学部教授杉田俊明氏と本学大学院教授の吉沢昌之を通じて、講演とパネルディスカッションを行う。公開講座を通じて、ベールに包まれていた中国企業の経営実態がより明らかになることになる。